

秋谷周辺に6m級津波の可能性

東京湾と相模湾に面する三浦半島では、起きる地震の種類によって津波の到達時間や波高などの地域差が大きく、神奈川県の上水予測図によると、東京湾側では10m級の最大波が到達する一方、相模湾側は5～6mの津波が短時間で押寄せる危険性が指摘されました。さらに三浦半島をはしる活断層が房総まで伸びている可能性も指摘されており、東京湾側では直下型の激しい地震と同時に津波が押寄せるケースも考えられます。

過去に起きた強地震の被害データを参考に作成された浸水予測図によると、明応東海型(1498年鎌倉大仏殿に津波到達)、慶長型(1605年千葉以南の広い太平洋側、地震の規模に比例しない大きな津波)、南関東型(1923年関東大震災5m級の津波)、元禄型(1703年鎌倉二の鳥居まで津波到達)など様々なケースが記載されておりますが、中でも県西部沖地震は70年サイクルで発生すると言われ、秋谷周辺では5.8mの津波がわずか29分で到達するという切迫性があります。また神縄・国府津～松田断層帯で地震が起きた場合、5.2mの津波が36分で到達、元禄型と連動すると6.1mの津波が28分で到達する見込みです。

秋谷漁港は海面からの高さが1.9mと極めて低く、高台への素早い避難が生死を分けることとなるでしょう。船舶保管施設では、防災スピーカーによる呼びかけと、毎年訓練を行っている避難誘導により、港内全ての人が助かるよう努力していきます。



避難場所の秋谷クラブ裏高台(20m以上)

今月のおすすめ釣魚

8月休日の潮回り

5日(日) 6:15満潮(189) 12:47干潮(44)中
12日(日) 6:51干潮(72) 15:12満潮(142)長
19日(日)12:01干潮(33) 18:13満潮(196)大
26日(日)14:10満潮(148) 18:00干潮(137)小

こんな魚が釣れてます

青物はサバ・イナダ、底物はキス・カサゴでしょうか。シイラも見かけるようになりました。メジ・カツオの到来が待ち遠しいです。それにしても天然マダイは美しい!



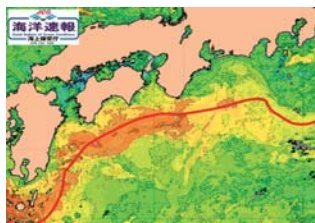
安全航行をいたしましょう!!

- 始業点検(ガソリン・主機・補機・船体・アンカー)
- 常備品(人数分ライフジャケット・信号紅炎・携帯電話・救命浮環・オール・ラジオ)
- 湾内徐行・漁網避難航行・天候注意・水上バイク注意・釣糸注意

今月のギャラリー



こんなのが釣れたら...(キハダマグロ)



黒潮の動きをチェック

海の生物ワンポイント

キハダマグロ[サバ科]

旗(ハタ=ヒレ)が黄色いことが名の由来です。最大体長2m・体重200kgになり、夏は黒潮に乗って関東沿岸にやってきます。市場価値はクロマグロほど高くないものの、国内消費は全マグロの30%を占める重要種です。

トピックス

昨年8月の相模湾はマグロフィッシングで賑わいました。黒潮が近づくこの時期はクロ・キハダ・カジキの他にGT(ロウニンアジ)も回遊するので、大物ハンターにはたまらない季節です。湘南沿岸はもちろん、秋谷港からもマグロ狙いの遊漁船が出港します。有志を集めてチャーターなどいかがでしょうか。

Q. 黒潮が蛇行するのは?

A. 黒潮は東シナ海を北上してトカラ列島海域から九州・四国・本州の南岸に沿って流れ、房総半島沖を東に流れて行きます。流速は早いところで2m/s以上、幅約100kmに及び、輸送する海水量は毎秒5000万トンに達します。2種類の安定した流路パターンがあり、本州南岸に沿って流れる「非大蛇行流路」と紀伊半島通過後、南へ大きく蛇行する「大蛇行流路」に分かれます。

大蛇行が発生すると、黒潮と本州南岸の間に下層の冷たい海水が湧き上がります。冷水塊は漁場位置に影響を与えることから漁業関係者は気になるところです。流路を決定している要因は黒潮の流量が関わっていますが、明確な解答は見出されていないようです。

指定管理者からのお知らせ

日よけ対策・水分補給

連日の猛暑にいささかバテ気味の日々をお過ごしではないでしょうか。そんな時は洋上で爽やかな風を全身に浴び、リフレッシュしましょう。船舶施設は無休で頑張りますので、是非遊びに来てください。ご出船の際は、麦わら帽子やサングラス、日焼けクリームは必需品です。またクーラーにたっぷりの飲料を持って航行しましょう。午後は天候が不安定になりますので、早朝出船をお勧め致します。

お問合せは ☎ 0120-560982 (コールアカヤに)

今月の事故

接触等	0	件
主エンジン停止	0	件
ガス欠	0	件